

新年度も「民商に入ってよかった」の声を広げよう！

本陣市税事務所

「借入返済を税金より優先するな」と

昨年、税務調査になって、多額の追徴税額が発生したAさん。国税については、4月以降に国税局と話し合うことになっています。2月に、市税事務所と県税事務所に行き、県税事務所は、当面納付を待ってもらう約束に。市税事務所では、担当者が不在でしたが、家族の病気のことや、収支の状況について詳しく話してきました。ところが、3月に入って「いつまで放置するんですか」との電話が。3月28日に、Aさんと息子さん、事務局の3人で出向き「前回、詳しく話をして、国税や国保料もあり、家族の重病もあって、毎月5万円しか当面払えないと話しました。その話は聞いてもらいましたか」と尋ねると「それは聞きましたが、市民税380万円を1年以内に払ってもらう必要がある。月5万の納付では、差押えに進むことになります」との返答。「納税の猶予、徴収の猶予の要件に、風水害や、家族の病気もある。差押えされたら、他の税金も払えないし、病気の治療もできなくなってしまう。行政の対応として間違いではないか」と抗議。Aさんの息子さんが、資料を示して滞納支払いには合計で20万ほどしか充てられないと説明。すると「接待交際費や民間の借入を削れば、まだ納付を増やせる。民間の借入返済を優先することは、市としては認められない」と暴言。Aさんは、「現場のジュース代は必要経費だし借入を返済するなどは、ひどいんじゃないですか」と抗議。結局、5万円の納付書を発行してもらい、来月も交渉することになりました。「コロナ禍の営業不振」「税務調査」「家族のトラブル」など滞納となった経過は様々ですが、高すぎる保険料、税金から、誰でも陥る可能性があります。相談できずに、心を病んでしまうことも珍しくありません。同じような悩みをもつ人同士、励まし合える場を設ける予定です。悩みのある方は、まずは民商へ



消費税NO!インボイスNO!

消費税反対ロングラン宣伝



3月31日、消費税やめさせる各界連絡会主催の「消費税NO!インボイスNO!」ロングラン宣伝が、名古屋市栄（スカイル前）で約30人が参加して行われました。

北部民商からは、事務局が2人参加し、春日井民商婦人部の皆さんと一緒にシール投票に取り組みました。初めて参加した久保事務局員は、婦人部の皆さんの積極的な行動にびっくりしたとのこと。春休み中ということもあり、人通りは多かったものの、大半は足早に通り過ぎていきます。しかし、時折、近づいてきてシールを貼ってくれたり、署名を書いってくれたりする人も。

中学生(?)の集団は、「消費税を下げて、欲しい物がもっと買えるようにしてほしい」などと言いながらシールを貼ってくれました。愛労連や愛商連のメンバーが、交代でマイクを握り、「市民は物価高に苦しんでいる。所得の少ない人ほど負担の重い消費税を引き下げよう」と呼びかけました。また、「STOPインボイス」のメンバーが、「インボイス実施後に、負担の重さから廃業する業者も増えている。インボイス実態調査のネットアンケートには、開始2日間で4000件を超える声が寄せられている。ぜひアンケートにも協力を」とスピーチしました。なお、シール投票では60人以上が足を止め、「消費税を下げる」が圧倒的多数でした。

恒例のお花見ウォーキング

3月29日(土) 婦人部7人で北区瑠璃光橋付近へ、お花見に行きました。満開に近い桜もあり、御用水のまわりは、桜並木を見ながら散歩する方で混雑していました。その後は、喫茶店「コンゴ」さんまで歩いて帰りました。「思ったより寒くなかった」「歩いたら、あたたかくなったね」「今年も、きれいな桜が見られてよかった」と話しながら、ランチを食べて交流しました。

花見の前に行った、婦人部役員会では、4月20日の拡大統一行動に積極的に参加すること、婦人部員訪問や婦人部員拡大を行うこと、7月に行う予定の婦人部総会では「コメ問題についての学習をおこなう」ことを決めました。

